

別紙様式 4

令和5年度 呉版外国語科学習到達目標

校番（15）呉市立吉浦中学校（呉市立吉浦中学校区）

	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
中学校第3学年	はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。	社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。	社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
	Unit 2 Haiku in English 今の状況や続いている状態についての対話を聞いて、要点を捉えることができる。 Unit 6 Beyond Borders 国を越えて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて、要点を捉えることができる。	Unit 3 Animals on the Red List 環境と私たちの生活について考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章を読んで、要点を捉えることができる。 Unit 4 Be Prepared and Work Together 地域の一員として防災に取り組む意識をもつために、外国人支援の取組について書かれた文章の要点を捉えることができる。	Unit 2 Haiku in English お互いの知らない一面を知るために、自分や相手が好きなことや取り組んできたことについて、たずね合って答えたり、伝えたりすることができる。 Unit 5 A Legacy for Peace どのような人やものかを伝えるために、言葉に情報を加えて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	Unit 5 A Legacy for Peace あこがれの人物を紹介するために、その人についての詳しい情報を整理して加え、書いた原稿をもとに発表することができる。 Unit 6 Beyond Borders 国を越えて助け合うために、世界の現状についての話を聞いて概要を捉え、自分の感想や考えを伝えることができる。	Unit 1 Sports for Everyone 日本を訪れる外国人に楽しんでもらうために、その人の経験や希望をもとに、日本滞在中のプランを考えて、メールを書くことができる。 Unit 3 Animals on the Red List 絶滅のおそれのある動物を守るために、現状と自分の意見や考えを整理して、簡単な語句や文を用いて記事を書くことができる。
中学校第2学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
	Unit 1 A Trip to Singapore お互いの予定などを知るために、休暇や週末の予定などについての対話を聞いて、主な内容を理解することができる。 Unit 5 Universal Design 身近なもの・ことについて、どのようにしたらよいかを理解したりだれかに説明したりするために、使い方ややり方について、大まかな内容を捉えることができる。	Unit 2 Food Travels around the World 料理や食文化の歴史や変化について理解するために、日本や外国の料理などについて書かれた文章の概要を捉えることができる。 Unit 5 Universal Design だれもが暮らしやすい社会について考えるために、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えることができる。	Unit 1 A Trip to Singapore お互いの夏休みの旅行計画を紹介し合うために、自分が立てた予定について、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 Unit 6 Research Your Topic 目的地までの行き方を決めるために、複数の交通手段を比べて、意見を伝え合うことができる。	Unit 3 My Future Job 自分の体験を伝えるために、職業体験について、事実や意見を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を発表することができる。 Unit 7 World Heritage Sites 行きたい世界遺産を紹介するために、どのような場所であるかの情報を整理して説明することができる。	Unit 2 Food Travels around the World クラスメートがすすめるレストランを紹介するために、自分の考えやおすすめの理由について、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 Unit 4 Homestay in the United States 日本に来る予定の外国人に知ってもらうために、日本の習慣やマナーについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。
中学校第1学年	はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。	関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。	関心のある事柄や体験したことなどについて、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。
	Unit 2 Our New Teacher 身近な人やもの、知らない人やもの、ふだんの行動などについての対話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。 Unit 3 Club Activities 場所や日時、したいことや夢、数についての対話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。 BRIDGE <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Unit 2 Our New Teacher Unit 3 Club Activities </div>	Unit 7 Foreign Artists in Japan 文化や言葉、食べ物などについて知るために、その情報についてのやり取りを読んで、必要な情報を読み取ることができる。 Unit 10 Winter Vacation 冬休みの思い出や過去の出来事について書かれた文章を読んで、過去にしたことについて、必要な情報を読み取ることができる。	Unit 4 Friends in New Zealand 相手に指示したり、時刻や好きなものについて、簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりすることができる。 Unit 5 A Japanese Summer Festival 行った場所やそこで楽しんだことなどについて、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 BRIDGE <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Unit 4 Friends in New Zealand Unit 5 A Japanese Summer Festival </div>	Unit 6 A Speech about My Brother 友達のことをほかの友達に知ってもらうために、メモを見て、まとまりのあるスピーチをすることができる。 Unit 8 A Surprise Party 現在の状況を伝えるために、人が今していることについて、簡単な語句や文を用いて即興で説明することができる。 BRIDGE <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> Unit 6 A Speech about My Brother Unit 8 A Surprise Party </div>	Unit 9 Think Globally, Act Locally 世界や地域の問題を伝えるために、したいことやする必要があることについて、ポスターなどに自分の思いを正確に書くことができる。 Unit 11 This Year's Memories 思い出を残すために、体験したことや感じたことを、簡単な語句や文を用いて日記を正確に書くことができる。
小学校第6学年	ゆっくりははっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
	Unit 1 This is me! 名前や好きなもの・こと・誕生日などについてのやり取りを聞いて、おおよその内容を理解することができる。 Unit 5 We all live on the Earth. 生き物の暮らしについての話を聞いて、地球に暮らす生き物がどこで暮らし、何を食べているのかなどを聞き取ったり、おおよその内容を理解したりすることができる。	Unit 3 Let's go to Italy. 友達が作成した「旅先案内カード」を読み、その友達が行ってみたいおすすめの家や地域と、その理由などが分かる。 Unit 8 My Future, My Dream 友達が作成した「夢宣言カード」を読み、その友達の中学校生活や将来の夢についての内容が分かる。	Unit 2 How is your school life? 日常生活や宝物について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 Unit 7 My Best Memory 小学校生活の思い出について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	Unit 4 Summer Vacation in the World 夏休みの思い出について、行った場所、楽しかったこと、感想など伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。 Unit 6 Let's think about our food. 食材を通して世界のつながりを考えながら、グループで考えたオリジナルカレーについて、伝えようとする内容を整理した上で、話すことができる。	Unit 3 Let's go to Italy. 「旅先案内カード」を作成する活動を通して、行ってみたいおすすめの家や地域と、その理由を、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を用いて書くことができる。 Unit 7 My Best Memory 「アルバムシート」を作成する活動を通して、小学校生活での一番の思い出を伝える文を、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を用いて書くことができる。
小学校第5学年	ゆっくりははっきりと話されれば、自分のことや日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現、具体的な情報を聞き取ることができる。	活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができる。 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができる。 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	簡単な語句や基本的な表現を用いて、日常生活に関する身近で簡単な事柄について話したり、自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で話したりすることができる。	大文字、小文字を活字体で書くことができる。 語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	Unit 3 What do you want to study? 登場人物が学びたい教科やなりたい職業について聞き取ることができる。 Unit 5 Where is the post office? 道案内されている場所やさがしものがどこにあるかを聞き取ることができる。	Unit 1 Hello, friends. 自己紹介の場面で、活字体の大文字を識別し、名前の綴りを「S-A-K-U-R-A」などと発音することができる。 Unit 4 He can bake bread well. 友達が作成した「身近な人紹介カード」を読み、その人の職業やできることなど、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句の意味が分かる。	Unit 6 What would you like? ていねいに注文をしたり、値段を尋ねたり、答えたりすることができる。 Unit 7 Welcome to Japan. 好きな季節とその理由、年中行事ですることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	Unit 4 He can bake bread well. 地域の身近な人の職業やできることなどについて話すことができる。 Unit 8 Who is your hero? 自分のあこがれの人について、伝えようとする内容を整理した上で話すことができる。	Unit 2 When is your birthday? 友達への「バースデーカード」を作成する活動を通して、自分や友達の名前を書くことができる。 Unit 8 Who is your hero? 「ヒーロー紹介カード」を作成する活動を通して、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

二重線枠：特に小中接続を意識して指導する学年(小6・中1)

太枠：各中学校区で特に重点を置いて指導する領域

BRIDGE: 小中接続のために重点を置いて指導する単元等